

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。“暮らしつづけたいまち”と思えるまちとなるよう定めた4つの基本概念(コンセプト)から市の取り組みをご紹介します。

つながりのある 元気なまち

つながりのある元気なまちとは、私が「いきいきと暮らし、さまざまささなな人と絆を結び、自分らしい人生を送れている」と実感できるまちです。



インタビュー

～市民の声～ (市民満足度アンケートから)

できれば、家にとじこもっている年配の方がみんなと何かができる、気軽に参加できるものがあればと思います。

市の取り組み ～地域のつながりを考える学習会～

市民の方が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていくために、「地域の課題」や「その課題に対する必要な活動」などについて、一緒に学び、考える学習会(全3回)を開催しました。

高齢者の増加に伴い、生活の支援を必要とする人も増えることが予想されます。特に、体は動かすことができるものの、買い物などの生活行動がしにくい方たちが増えることが見込まれています。一方、生産年齢人口や、介護人材の減少が予想され、支援を求める人と支援する人を結びつけることが難しくなると思われます。こうした問題解決に向け期待されているのが「地域とのつながり」です。学習会では、友人やご近所の方と一緒に買い物をしたり、見守りあう等、地域でつながり助け合いをすることで、介護の需要を減らすことができることを話し合いました。市では、引き続きにぎわいがあり、元気なまちになるよう施策を推進していきます。

市と地域包括支援センターには、地域とのつながりを支援する生活支援コーディネーターがいます。地域とのつながりを持ちたい、広げたい方は、ぜひ、生活支援コーディネーターにご相談ください！

学習会に参加した方にお話を伺いました。

- Q. 地域のコミュニティに参加していますか？
- A. 町内会に参加しています。
- Q. 地域のつながりを感じることはありますか？
- A. つながりが弱くなっていると感じています。近所の人たちと身近になりたいと思っていますが、難しいと感じていました。
- Q. 学習会に参加してみたいか？
- A. 介護予防にもつながるとわかったので、地域の皆さんに声をかけ、会話することからつながりを強くしていきたいと思いました。

